

2010年新春号

暮らしと資産のコンシェルジュ通信

FPオフィス Life & Financial Clinic

2010年1月1日発行 Vol. 1、第 1 号

■新年のご挨拶



本年もよろしくお祝い申し上げます

新年、明けましておめでとうございます。

昨年、一昨年前に起こったリーマン・ショック以降の金融不安の影響により、世界的な不況に見舞われました。特に日本では他の先進国に比べても景気の回復が遅れているという経済指標も出ています。その中で、雇用不安や給料や賞与のカットなど、家計部門で暗いニュースが多かったような気がします。

また、夏に盛り上がった衆議院選挙では、民主党が大勝し、政権交代が実現しました。新政権のマニフェストでは、子ども1人に中学校卒業まで毎月2.6万円支給するという「子ども手当」が盛り込まれています。「子ども手当」を導入す

るためには、所得税・住民税の配偶者控除・扶養控除(16歳未満)を廃止するなど、税制改正も予定されています。「子ども手当」導入に際しても、さまざまな議論がなされ、ようやく一定の結論に落ち着きました。

「子ども手当」や税制改正1つを見ても、家計と将来のライフプランを立てる上で、大きな影響を与える問題です。

2010年は、新政権が本格的にさまざまな施策を実行する段階に入ります。新しいことを実行するためには、さまざまな負担が発生します。それが、家計とライフプランにどのように影響するか、そしてどのように対策を必要があるかを考えていきたいと思います。

そして、それを皆さまに迅速・的確にお伝えして、皆さまの幸せなライフプランづくりにお役に立ちたいと考えております。

本年も、どうぞよろしくお祝い申し上げます。

FPオフィス Life & Financial Clinic
ファイナンシャル・プランナー
平野 泰嗣 平野 直子

◆お届けする内容◆

- ・新年のご挨拶 1
- ・2010年注目のキーワード
- ・2009年マーケットの振り返り 2
- ・2009年重大ニュース
- ・我が家の重大? ニュース(1年間を振り返って) 3
- ・子ども手当と税制改正の概要固まる
- ・セミナーのご案内 4

■2010年注目のキーワードは、エコと家計



鳩山首相がCO2排出量を1990年比25%削減することを

宣言して以来、環境への関心が高まっています。しかし、環境は感心があるものの、家庭での取り組みは遅れています。

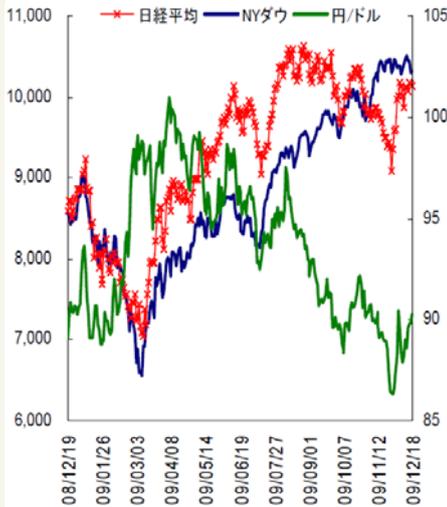
昨年は、エコカー減税やエコポイントが景気回復の原動力となり、今年は、新たに住宅エコポイント制度の議論が本格

化されます。

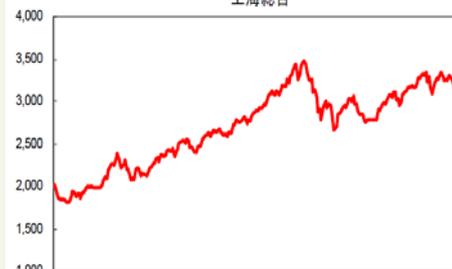
家庭でのエコの取り組みについても、CO2削減量という基準の他にお金としてどの位メリットがあるかも明らかになってきました。環境にも家計にも優しい家庭でのエコの取り組みに注目です。



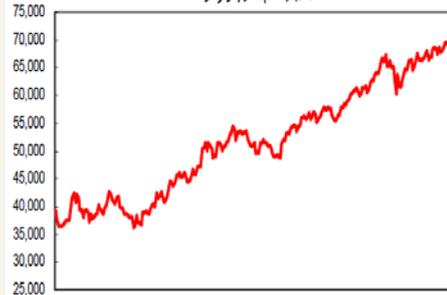
投資は、長期的な視点で世界マーケットを見よう！



上海総合



ブラジル・ボベスバ



2009年マーケット振り返り

リーマン・ショックが発端となった世界的な金融不安によって、家計の投資資産が大きく目減りし、年初めは金融資産の運用に関する相談が多かったです。その内容は、大きく目減りした資産を損切りすべきかどうかという内容のものでした。4月に入り、新興国を中心とした株式市場や国内株式の持ち直しによって、金融資産の運用相談内容も、どの資産に振り分けて投資すべきかという、「守りから攻め」への判断を問うような相談が増えたような気がします。

2009年年初の日経平均株価は8991円12銭に始まり、3月10日に年初来安値7054円98銭の底をつけ、その後、乱高下しながらも投資マネーが戻ってきたこともあり、12月22日時点で10378円03銭となっており、騰落率は約15%。

為替市場を見ると、円/ドルレート(上のグラフの一番下の折れ線)で、4月に100円を突破して以降軟調で、11月27日早朝には、一時1ドル＝84円台をつけ、国内の輸出関連企業の業績への影響が大きく懸念され騒然となったものの、

12月22日現在は落ち着きを取り戻し、91円前後で推移しています。14年4ヶ月ぶりの円高水準となった原因は、ドバイの政府系機関の債務支払い猶予要請でグローバルマネーが安全資産である円に集中したためです。その後、12月中旬にかけ、ドバイの信用不安の後退、米国雇用改善のニュースにより、ドルが買い戻されたため。投資マーケットがグローバル化しているため、信用不安の高まりで為替相場・株式相場が国内・外国ともに大きく変動する傾向があります。投資は怖いと感じられるかもしれませんが、短期的な視点で見るのではなく、年単位で考えてみる必要があります。

最後に新興市場ですが、上海総合指数は年初来の騰落率50%超、オリンピックの開催が決まり注目の的となったブラジルの騰落率は60%超となっています。投資マネーは明らかに新興国に向かっているようです。投資は、国内ニュースだけではなく、海外、特に新興国の経済ニュースにも注目する必要があります。

昨年一番、印象に残ったニュースはコレ！

2009年の重大ニュース

2009年のトピックスを振り返ってみたいと思います。昨年いろいろな事件があったとつくづく思います。

●第1位 新型インフルエンザ流行

ようやく落ち着きを取り戻しつつある新型インフルエンザ。予防マスクが売り切れ続出というニュースが記憶に新しいです。最近、広告用にポケットティッシュではなくマスクを配る光景を見かけます。

●第2位 政権交代、民主党政権誕生

子ども手当、高速道路無料化など、話題の多かった民主党のマニフェスト。子ども手当導入による家計への影響、社会保障

問題など、今後の家計とライフプランに大きな影響を与える問題が山積みです。

●第3位 高速道路ETC利用で1000円

ETC搭載の自家用車の高速道路料金が土日祝日一律1000円。導入時期にテレビで渋滞のニュースが多く報道されました。人とモノの流れが多くなって、特に地方の活性化につながれば良いと思います。

●第4位 侍ジャパン、WBC2連覇

決勝戦まで不振が続き厳しい批判を浴びたイチロー。プレッシャーに負けず、決勝戦で決勝打を放った瞬間は、思わず鳥肌が立ちました。イチローのバッティングの凄さは

もちろん、原代表監督やチームメンバーとイチローの間の信頼関係に感動しました。

●第5位 酒井法子、覚せい剤容疑で逮捕

のりぴーファンという訳ではないのですが、大麻・覚せい剤などの不正所持・使用のニュースを聞くと、世相が悪くなっているのを感じます。

●番外編 エコポイント、エコカー減税

CO2削減達成と経済活性化のため、新政権が導入したエコポイントとエコカー減税。一部の産業に恩恵を与えるのはという批判もありますが、国民が環境問題へ強い関心を持つきっかけになったと思います。

1年間を振り返ってみて・・・



■2009年我が家の重大ニュース!?

日本漢字検定協会による2009年を表す漢字一文字は「新」でした。新型ウイルス、新政権誕生に代表されるように、確かに「新」という文字がキーワードであったと思います。

さて、我が家を「新」というキーワードで振り返ってみます。

●仕事面

昨年は新しい出来事や取り組みが盛りだくさんの年でした。

まず、5月に夫婦で共同執筆した、「30代夫婦が働きながら4000万円の資産をつくる考え方・投資の仕方」が発行されました。一昨年の年末に立てた目標(夢)を実現することができました。

そして、10月には、テレビ東京「e-morning」とフジテレビ「FNNスーパーニュース」でTV出演を果たしました。

また、新しい取り組みとして、環境と家計に関する講演、ワークライフ・バランス

とマネーバランスに関する執筆・コンサルトを行っています。

●プライベート

プライベートでは大きな変化は無かったのですが、結婚前からお互いに使用していた家電製品が耐用年数を大幅に超えていたので、エコポイント制度の後押しもあり、いろいろ買い替えました。

また、家事の省力化ということで、お掃除ロボット「ルンバ」が新たな家族(?)としてやってきました。

2010年も新しい取り組みへチャレンジすると共に新しい出会いの機会を積極的に作っていきたいと思います。

★勝手に2010年の漢字を予測!

2010年の漢字は「環」

環境問題へ関心の高まりや、循環型社会実現へ向けた取り組みなど、「環」が今年のキーワードと予想。

扶養控除15歳以下廃止、16～23歳未満の特定扶養控除は縮小

■2010年税制改正大綱固まる



子ども手当の財源を巡って、扶養控除等の扱いについて議論の行方が難航していた民主党の税制改正大綱がようやくまとまりました。

住民税と所得税の配偶者控除・扶養控除(15歳以下)の廃止(23～69歳の成年者の扶養控除は残存)と、16～23歳までの特定扶養控除の控除額を縮小という結論になりました。

当初案では、所得税の配偶者控除及び扶養控除の廃止で、住民税に関する控除の廃止は含まれていませんでした。従って、子ども手当が貰える世帯でも、当初予定していた手取り額の増加分よりも、実際には少ない増額になる見通し。

16～22歳の特定扶養控除(所得税63万円、住民税45万円)は、当初案では手をつけず予定でしたが、財源確保の必要性から、それぞれ38万円と33万円に縮小。該当する世帯では高校授業料無料化(年額10万円程度)の恩恵が受けられるが、実質負担増加になります。

一方、23～69歳の扶養控除は、当初廃止を予定していたが、子ども手当の恩恵が受けられず、負担増だけという批判から、廃止が見送られました。

所得間、世代間の意見を調整するとなかなかまとまらないでしょうが、またもや複雑な税制が出来上がりました。

2010年度税制改正大綱のポイント

【家計部門】

- 住民税・所得税の一般扶養控除の廃止
- 住民税・所得税の特定扶養控除の縮小
- 住宅取得時の贈与税非課税枠を現行500万円から1,500万円に拡大
- ガソリン税の暫定税率を据置
- たばこ税を2010年10月から1本当たり3.5円増税(1箱の価格は400円前後)

【企業】

- 新興国進出の企業負担を軽減
- 企業グループの経営を後押し
- 研究開発減税を継続

【将来】

- 環境税の導入
- 納税者番号制度の導入

FPオフィス Life & Financial Clinic

〒185-0014

東京都国分寺市東恋ヶ窪3-9-40

電話 : 042-327-5575

FAX : 042-327-5575

メール : info@mylifeplan.net

発行・編集 平野 泰嗣



Web サイトもご覧ください

<http://www.mylifeplan.net>



「30代夫婦が
働きながら4000万円の資産をつくる
考え方・投資の仕方」
明日香出版社から好評発売中です！
●ワークシート・Excelシート
【ダウンロード特典付き】

●メールマガジン「働きながら4000万円の資産をつくる」
毎月20日発行(無料)しています！

登録は、コチラから

<http://archive.mag2.com/0000290147/index.html>

あなたらしい“幸せな人生”を送ること。それが私たちの願いです。



2010年2月6日(土)14:00~16:30
女性と仕事の未来館(東京:田町)

■ パートナーと考える！私たちの未来設計図

ご夫婦(パートナー)とご参加いただける
“ワーク形式”のライフプランセミナーを
開催します。

普段、家計やライフプランについてゆっく
り話し合う時間がとれないという方にお
勧めのセミナーです。

同タイトルのセミナーを3年前より開催し
ていますが、既に100組以上のカップル
がご参加されました。

新しい年の始まりに、お二人と家族の未
来設計図(ライフプラン)を作ってみませ
んか？

※2010年以降、家計で考えなければなら
ない、税制・社会保険制度改正につい
てもお話しします。

- 開催日 : 2010年2月6日(土)
- 開催時間 : 14:00~16:30
- 開催場所 : 女性と仕事の未来館
第2セミナールーム
- 受講料 : 3,000円
※お2人で参加の場合5,000円



●お申込み・お問合せ
info@mylifeplan.net